きぼうのいえ　ニュースレター

2011年 秋号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ
〒111－0022 東京都台東区清川 2 丁目 29 番 12 号
電話：03-3875-7523　Fax：03-3875-7525
E-Mail：kibounoie777@mbm.nifty.com
ホームページ：http://www.kibounoie.info

「きぼうのいえ」毎日社会福祉顕彰を受賞

後援会の皆さまへのお礼

施設長　山本雅基

このたび、本会の活動について、財団法人毎日新聞社会事業団より、第 41 回毎日社会福祉顕彰が授与されることになりました。

2002 年 10 月の活動開始以来 10 年にわたり、およそ 130 人の、身寄りがなく行き場をなくした人々の人生の最後を看取ってきたことについての社会的意義が認められたひとつの表れといえるでしょう。賞牌の贈呈式は 10 月 3 日、毎日新聞東京本社内の会場で行われます。

今回の受賞はまず、何をおきましても、長年にわたってきぼうのいえの存続を、物心両面からお支えいただいた、後援会の皆さまがたにお捧げする栄誉かと存じます。皆さまのご支援がなければ、10 年にもわたってきぼうのいえを継続させてくることは到底不可能でありました。

きぼうのいえは、マザー・テレサがインドのコルカタで始めた「死を待つ人の家」の日本版と呼ばれることがしばしばありますが、日本ではむしろ「生を生き抜く人の家」と呼んだほうがふさわしいかもしれません。

本賞受賞は、2009 年、マザーテレサ生誕 100 周年記念として、マザーが日本に残したものが、どう芽吹いているかを取材したドキュメンタリー映画「マザーテレサと生きる」（女子パウロ会配給）の映画監督でもあり、日本で最初にマザーテレサを映像で紹介した「マザーテレサとその世界」の監督も務めた千葉茂樹氏の推薦がきっかけのひとつであります。マザーは 1981 年の初来日当時、そのドキュメンタリーにも記録があますが、日本人のすべてに向けて、「あなたの足元のコルカタ（カルカッタ）を探してください。そしてそこへ足を運んでください。」と述べました。今回の受賞は、その人道的、普遍的な真実が、ご支援していただいている多くの皆さまの心に響き、皆さまの心がひらかれたことにあったと思います。

私はきぼうのいえのスタッフ・ボランティアとともに、皆さまに心から感謝を申し上げる次第です。

○　○

きぼうのいえでは私どもの活動にご賛同頂ける皆様方にご支援・ご寄付をお願いしています。
振り込み方法は ①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金 の3つがあります。
ご協力頂けますよう、お願い申し上げます。

① 郵便振替の場合	② 銀行振込の場合 (※1)	③ インターネット募金
郵便振替番号:	みずほ銀行 三ノ輪支店 普通	ホームページからアクセスして、
00190－6－388670	口座番号：1284037	カード決済することもできます。
名義：きぼうのいえ後援会	名義：特定非営利活動法人きぼうのいえ	http://www.kibounoie.info/index.html

※1　銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

施餓鬼供養

7 月 22 日、きぼうのいえでは浄土宗の僧侶お２人をお迎えし、お施餓鬼をしていただきました。

会場は屋上の「聖家族礼拝堂」。カトリック教会様式の礼拝堂ですが、仏教的な行事もここで行われます。お施餓鬼には数名のスタッフが参加。一対のお花とお施餓鬼のためのお供えが置かれた祭壇に向かい、皆で心を合わせてお祈りしました。

施餓鬼供養は毎年１回、お盆の時期に行われています。きぼうのいえで亡くなられた入居者さんのご供養とともに、ここ山谷地域で亡くなられた無縁の方々のご供養もさせていただいています。また今年は特に 3 月 11 日の大地震以来、震災でお亡くなりになったすべての方々を覚えて、天に召された人々の魂が癒され、平安が訪れるようにと祈りました。

一人ひとりの名前を読みあげて

2002 年の創設以来、逝去された入居者さんは 129 名となりました。全員の名前を読み上げるのは時間もかかるし大変なのでは、との意見もありましたが、一人ひとりのお名前を読んでいただくことでその方々を思い起こし、その人との関わりに思いを馳せることができるのです。名前が読まれるたび、その方と過ごした日々が昨日のことのように思い出されました。

礼拝堂には、逝去された方々数十名の写真が飾られています。皆とてもすてきな笑顔をしています。その笑顔は私たちに希望を与えてくれます。彼らが、今はきっと天国で平安の内に過ごされていることを信じたいと思います。

年にたった１度ではありますが、これからもこの機会を大切にしてゆきたいと思います。

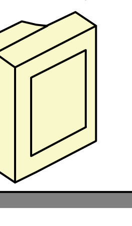
（下条知加子）

御施餓鬼会 とは、餓鬼道に落ちた餓鬼に施しをして供養する儀式のことです。法要では、餓鬼道にいる餓鬼や無縁の霊、ご先祖などを供養すると共に、餓鬼などがご飯や功徳を受けられるよう読経をします。

地デジ導入しました

外出が難しい入居者にとって、テレビは大きな楽しみの一つです。きぼうのいえにとって地デジ導入は今年度の大きな課題でした。アンテナ工事も含めた費用のやり繰りに頭を悩ませていた矢先、地デジテレビ二〇台のご寄付のお申し出がありました。これを機会にアンテナ工事や不足分の購入を行い、入居者の部屋三十二室と食堂などの共同部分二室を含め、三月末までに、全室、地デジに移行することができました。鮮明なテレビ画像に、皆さん大喜びです。ご支援いただいた方々に深くお礼を申し上げます。

（え）



入居者さんに聞く

K さん（67 歳）

「元気か」ってそれだけ

仕事は塗装業ひとすじ。帝国劇場や国立劇場は俺の仕事だよ。五つの建設会社を掛け持ちでやってたから、地方にいけばもっとたくさんあるね。ずっと新宿にいたので山谷の日雇いは一切関係ない。

家族とは音信不通になっている。理由は、自分が逃げていたから。悪さばっかりしてたからねぇ。でも、セガレの三男坊にはたまに電話することがあるよ。話は「元気か」ってそれだけ。自分の居場所は言っていない。

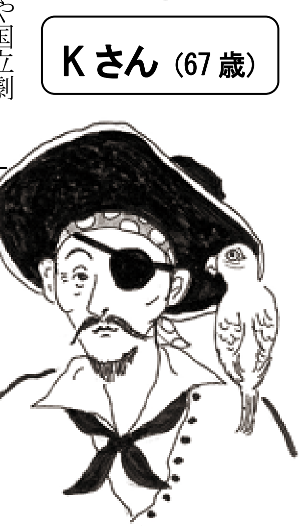
病気は最初、食欲不振で病院に行ってわかった。そこであと二〜三ヶ月って言われたが、思ったよりショックはなかったねぇ。自分でも不思議だよ。親が両方ともがんだったから、そんなものだろうと思ったんじゃないかな。

親との仲は悪くはなかったよ。父親の葬式は俺が出した。花輪とかを見ていると、どうして親父はこんな人を知っているのかと不思議で、自分の知らない世界を見た気がしたね。

六人きょうだいの三番目。女ばかりだとわがままになって失敗するね。自分本位になるから。

今の生活は三週間にいっぺん抗がん剤治療を受けているだけ。退屈だから、ビデオで映画を繰り返し見たりしている。差し入れてもらった「リオ・ブラボー」は五回くらい見たよ。昔は土曜といえばオールナイトで映画館だったよね。

ここに来た最初の頃は、よく友だちが四〜五人遊びにきていたが、あれは仕事の関係じゃなくて、みんな新宿のホームレスだよ。でも、今は遠ざけている。別れるのは辛いじゃないですか。自分は先が短いし、あなたたちにはもっとやるべきことがあるでしょうと。自分に先があればまた違ってくるだろうけどね。



こんなことなら捨てなきゃよかったものがたくさんある

風呂には真夜中に入っている。あなたも見て知っているように、昼間に動くとストマ（人工肛門）から腸がはみ出てしまって、そのままだと入れないから、腸が引っ込む真夜中まで待っている。先生は「切ってやろうか」と言ってくれるんだけど、もう切るのはいいですと言っている。

それにしても、あと二〜三ヶ月って言われたのにもう一年以上たった。こんなことなら捨てなきゃよかったものがたくさんあるなぁ。服にはこだわりがあったから、あれを捨てたのは勿体なかった。

病気の前後で変わったことは何もないね。**（昔からこんな感じの人だった?）**いや、口の利き方が変わったかな。職人は口が荒いけど、ここでは世話になっているし、女性相手のことが多いから。

誕生日を祝ってもらったよ。その後、最近はスタッフと将棋をやって遊んだりということはない。でも、RとNが俺を海賊にするってよ。海賊の衣装を作ってくれるんだと。**（たしかに似合うかも。遊ばれてますねぇ）**—いいエサだよ。（笑）

厨房に聞く

M子さん

ちょっとした気遣いが通じると嬉しい

—— M子さんを中心に、朝のミーティングには厨房のスタッフにも出席して頂いて、入居者さんの日々の健康状態や何気ない様子をいろいろ教えてもらっています。最近の食堂はどんな感じでしょうか？

たまたま元気なひとが多くて、まるで学食みたいに活気があるねとか、高校球児のようとか、厨房ではそんな話をしているの。ご飯のおかわりはしないけど、最初の段階で大盛りにして、ホントに山のよう…。呼ばなくても時間前に出てくるし、だから終わるのも早い。こんなのは初めてだね。

—— 入居者さんたちの調子次第で、食堂がわいわいする時期と寂しい時期と、結構交互だったりしますよね。

むかしは体調不良だったり食べる気がしないとかで、何時になっても出てこないひとがいて、時間になったら出すだけ出しておこうということもよくありました。ここは病気の重いひとがいる場所だから仕方がないけど、やっぱり出てきてくれると嬉しいよね。

—— 厨房のスタッフとして気をつけてることって何でしょう？

十人十色だから、納豆が好きなのに薬の都合で食べられないひともいるし、お茶ひとつとっても濃い薄い、熱いぬるいの好みがあるからね。もう少し多いとダメだけど、この少人数だから密に接することができて、ちょっとした気遣いができる。そういうのが通じると嬉しいね。

編　集　後　記

施設の雰囲気が少しでも伝わればと思い、今号ではインタビューを掲載しました。行間を読んで頂けたらと思っています。　(S)

法人名：　特定非営利活動法人　きぼうのいえ

活動計算書(注)

平成22 年　4 月　1 日　～ 平成23 年　3 月　31 日　まで

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
個人会員受取会費	1,519,000		
法人会員受取会費	130,000		
月約会員受取会費	1,563,000	3,212,000	
2. 受取寄付金			
一般受取寄付金	51,169,116		
教会受取寄付金	2,064,362	53,233,478	
3. 事業収益			
事業収益	44,087,883	44,087,883	
4. その他収益			
受取利息	172,994		
雑収入	1,568,280	1,741,274	
経常収益計			102,274,635
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	33,291,754		
臨時雇賃金	2,208,722		
法定福利費	4,506,286		
福利厚生費	449,308		
人件費計	40,456,070		
(2) その他経費			
図書仕入れ	889,674		
通信運搬費	1,198,209		
消耗什器備品費	909,089		
消耗品費	247,818		
修繕費	1,210,868		
印刷製本費	108,370		
図書資料費	152,710		
光熱水料費	3,736,317		
賃借料	7,226,681		
保険料	259,710		
諸謝金	270,000		
租税公課	529,500		
委託作業費	3,235,110		
厨房費	12,534,165		
旅費交通費	2,892,345		
支払利息	1,433,297		
支払手数料	253,440		
減価償却費	3,947,832		
雑費	165,133		
その他経費計	41,200,268		
事業費計		81,656,338	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	3,600,000		
人件費計	3,600,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	234,120		
接待交際費	253,758		
支払手数料	853,210		
雑費	31,700		
その他経費計	1,372,788		
管理費計		4,972,788	
経常費用計			86,629,126
税引前当期正味財産増減額			15,645,509
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			15,575,509
前期繰越正味財産額			61,778,240
次期繰越正味財産額			77,353,749

（注）特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。